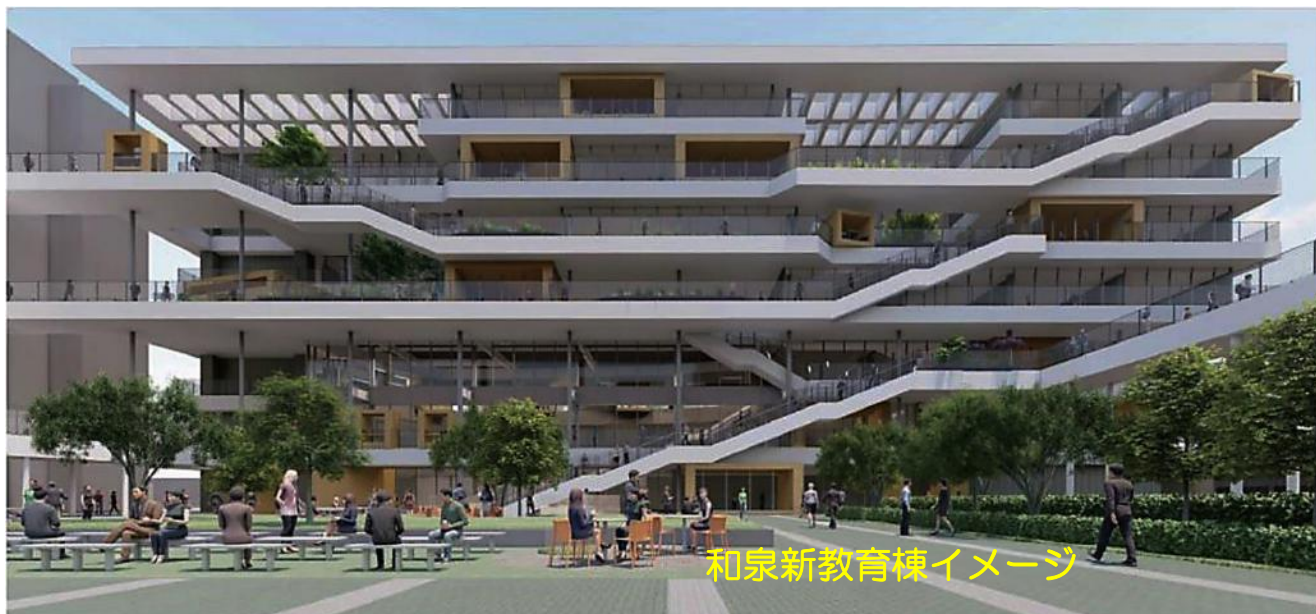


多摩支部会報

2021年（令和3年）夏季号（通算42号）

令和3年5月30日発行

明治大学校友会
東京都多摩支部
支部長 富麻 功
広報委 飯田光宏



支部長挨拶

富麻 功
(小平・昭39・商)

多摩支部校友の皆様にはお元気にてご活躍のことと存じます。日頃より多摩支部の活動にご理解いただきご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2021（令和3）年度が始まり既に2か月が過ぎてしまいました。新型コロナウイルス感染症拡大が全国的に続く中、収束に向かうどころか変異株がその猛威を振り始め、加えてインド株の流入・拡大の恐れもあり3回目の「緊急事態宣言」が発出されてしまいました。

こんな中、第18回多摩支部総会実行委員会（立川・小平・村山・あきる野・羽村・福生の各地域支部）の皆様には、土井隆夫実行委員長を中心に、メンバーや関係者と幾度となく会議に会議を重ね、万端の準備を整えていただきました。しかし、感染症拡大による出席者の安全安心を第一に考えた時、完全には担保しえないとの判断に至り、来年度に託すとして、昨年度

に続き今年度総会も苦渋の決断ではありますが、開催を中止するものと決定いたしました。

多摩支部の会則では、支部の年度の事業報告と決算、事業計画と予算は「役員会での付議を経て総会の承認を得る」とありますが、校友会の北野大 会長から示された支部総会中止の場合の議事の取り扱いについての特別措置に基づき、支部役員会の決議をもって決定させていただくことといたしました。

2年間の総会中止という超異常事態の下とはいえ長期にわたり、校友間のコミュニケーションの場の欠落は大きな課題を残していますし、また極めて残念なことであります。

各地域支部におかれましては、対面方式の交流は引き続き困難とは思いますが、メール等での情報交換・意見交換・支部長等からの情報発信をいただき、校友間の絆意識の涵養と母校賛助に努めていただくことを願っております。

今般、福生地域支部が地域に密着した”**ふっさ環境フェスタブル**”事業へ参画し、**「環境」に取り組む福生地域支部動画**」のYouTubeチャンネルへの配信などを開始しました。参考になると思いますので、是非、ご高覧下さい。**コロナを乗り越え来年度総会で再会しましょう。**

総会実行委員長経過報告



第18回多摩支部総会
実行委員長
土井 隆夫
(小平 昭45 商)

第18回多摩支部定時総会実行委員会は、立川・小平・村山・あきる野・羽村・福生の6地域支部が担当、総勢21名の実行委員で準備してまいりました。

昨年、第17回総会は新型コロナウイルス感染が発生し苦渋の選択で残念ながら中止のやむなきに至りましたので、本年度は新型コロナウイルス感染が続く状況の下ではありましたが、2年連続での総会開催中止をできれば回避すべく、会場ホテルの許容範囲下で準備をしてまいりました。

当初には、実行委員会ではコロナ禍の状況下、実施の可否について、いろんなご意見や思いがありました。

しかしながら、多摩支部長からの指示「参加者の安全を第一に、このコロナ禍のピンチをチャンスに活かし一層のスリム化を図り、魅力あるコンパクトな総会を目指して、新しいスタイルを模索すること」の指示のもと、“出席者限定の方法、安全への諸措置、来賓削減、時間短縮、静かな中にも新たな演出など”4回にわたる実行委員会で一致協力して準備に取り組んでまいりました。

実行委員会としては、4月初旬まで限定開催実施に向け諸準備し、ホテルとの細目打ち合わせ、会員向け案内状発送依頼、各地域支部への出席者募集・懇親会費収受方法など準備をしていたところでした。

その間、コロナ禍の状況は収まらず、1月第2回緊急事態宣言、3月まん延防止等重点措置、4月第3回緊急事態宣言発令が出されるに至り、4月24日校友各位の健康と安心安全を最優先させることを前提の下では、今年の総会・懇親会の中止もやむをえないと、苦渋の中止決断となりました。

コロナ禍の状況下では、実行委員会で会議以外の気楽な意見交換もできず、実行委員の皆様には本当に申し訳なかったですし、苦悩しながらも準備に取り組んでいただいた実行委員の皆様には感謝しかありません。

本当にありがとうございました。

4年後にはこのチームで今度こそ楽しい総会にすべく協力していきましょう。

＜実行委員会の経過報告＞

- ①8月8日：総会実行委員会引継（引継書受領、実行地域支部顔合わせ）
- ②9月5日：第1回実行委員会：支部長より従来通りの総会実施で準備指示、正副実行委員長確定、各支部担当業務確定
- ③11月29日：第2回実行委員会：當麻支部長より開催方針発表～新しい総会スタイルの検討指示
- ④1月21日：正副実行委員長がホテルと使用条件など折衝
- ⑤1月31日：第3回実行委員会（メール会議）：役割決定、案内文決定
- ⑥会場ホテルから実施可否の返答要請（2/15返答期限～総会実施日への別途予約あり）
- ⑦2月13日：支部長・幹事長との協議で現在のホテル予約内容で実施準備方針を確認、ホテルへ返答
- ⑧2月18日：次回第19回総会をホテルエミシア東京立川に予約
- ⑨3月20日：第6回正副支部長会及び第6回役員会（いずれもメール会議）で、総会開催の可否等判断せざるを得なくなった場合は正副支部長会の検討を経て支部長、幹事長、実行委員長の三者協議に一任する旨、賛意を得る
- ⑩3月20日：第4回実行委員会～アトラクション決定、案内文、各地域支部長への案内内容協議
- ⑪4月1日：会員向け案内文の印刷、郵送を校友会本部へ依頼、その後印刷留置依頼、各地域支部長への案内案決定、封筒印刷
- ⑫4月24日：第1回正副支部長会で中止決定、5月8日の役員会で書面決議する決定、案内文修正決定し校友会本部へ再依頼、アトラクションへ中止連絡
- ⑬4月26日：ホテルエミシア東京立川へ6月27日の定時総会を中止を決定したので予約キャンセルを伝える。
- ⑭5月8日：第1回役員会（メール会議）で議案を書面決議し承認得る
- ⑮以後：実行委員会事務局から各地域支部長宛終身会費未納者宛中止案内文必要部数郵送、定時総会資料（300部印刷）を各地域支部長に発送（柴田印刷所）、経費精算、引継書作成など、8月7日に第19回担当地域支部への引継ぎの予定

以上

校友会「明治大学発祥の地 記念碑祭」を略式開催

2021年1月17日（明治大学広報第746号より）

（記：江面利和氏 日野）



校友会東京都南部支部（廣野宏士支部長）は1月17日、本学発祥の地である東京・有楽町（数寄屋橋跡付近）で「第12回明治大学発祥の地 記念碑祭」を開催した。この日は

創立140周年の創立記念日に当たり、当初は柳谷理事長、大六野学長をはじめとした法人役員や千代田区長らを招いて盛大に挙行される計画だったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令（1月7日）を受け、記念碑の清掃のみを支部役員数人が行った。

同記念碑祭は、大学建学の精神を顕彰し、創立者の功績や開校の起源に触れて、母校のさらなる発展を祈念する行事として、創立記念日前後に毎年催されているもの。2022年1月の同記念碑祭は、創立140周年記念事業の一環として大学後援で開催される予定。

2022年1月の同記念碑祭は東京都5支部共催で行う予定です。ぜひご参加ください！

1995年11月2日完成除幕式の模様を伝える明治大学広報（1995年12月16日）

（出典：東京都南部支部ホームページより）



写真は1995年12月16日 明治大学広報 3面 明大発祥の地に記念碑 除幕式の模様

（下記1995年11月15日明治大学広報1面より）
明治大学発祥の地記念碑の除幕式が11月2日午前10時30分から、建立場所である千代田区有楽町二丁目（数寄屋橋・ニュートーキョービル横）で行われた。除幕式には岡村理事長、宮崎総長、岡野学長をはじめ、大学役員・関係者、創立者・岸本辰雄お子孫の方

々、明治法律学校に上屋敷の使用を許可した旧島原藩主の子孫松平忠貞氏らが参列。同記念碑の除幕は理事長の合図で、総長、学長、松平氏、岸本氏の子孫を代表して岸本夏未氏と目良夏菜子氏の六名によってとり行われた。同記念碑は、明大が建学の精神を顕彰、教育の近代化の道標を明らかにする趣旨で建立したもので、デザインは現記念館をイメージしている。

コロナ禍での明大米ブランドもち米づくり

国立地域支部

(記：沼尻 哲)



稲かり 今年も上出来 明治大学校友会 国分寺・国立支部

多摩支部の中で10番目に生まれた国立地域支部で一大イベントがある。暮れの餅つき大会であり1996・平成8年51名の参加で始まり今年25回目を迎える。会場も国立市の史跡とも云われる藁ぶき屋根の”古民家”その後”矢川いこいの広場”そして2016年から現在の”城山さとのいえ”と移り変わっている。

近隣支部等もお誘いしたり・国分寺支部との共催・明大祭実行委員の現役学生・立川元幹事長守重芳樹氏の縁でご子息明大相撲部監督佳昭さんの全面的バックアップにより現役明大相撲部のメンバーも加わり8支部合計93名の参加を見るまでに大きなイベントになって来ました。その間24回で中止は昨年1回だけ、天候も晴天に恵まれ続け、雨も1回だけという記録が残っています。

小春日和の田園風景の中で山形名物のいも煮であつたまり、搗き立てのお餅をあんこ・きなこ・おろし・納豆そしてずんだをみんなで好きなものを好きなだけ食べ、語り合う光景はまさにオール明治・明治は一つです。

そして「せっかくならもち米も国立産にしたいね。」

こんな思いから、2017年4月グルメ探訪同好会でスタートを切る。登録は16名。年3回とし開講・田植え・稲刈りに集合、作業の後城山さとのいえに再集合手づくりの食事会・懇親会を開く年会費2千円とした。

(とある日のメニュー)

松茸風炊き込みご飯・すいか・飲み物

料理7点 小田原柏又風トマトサラダ・肉団子・里芋と烏賊の煮物・焼き茄子

じゃがいも餅・ピリ辛きゅうり・あさつきの酢味噌和え

校友の沼崎信夫さんに全面的のご協力(田圃の貸与・生育の見守り・道具の手配)をお願いし成り立って今年5年目を迎えている。

昨年はコロナ禍、事業の存続・継続と感染予防のなかで試行錯誤の末

- ① もち米づくり緊急メンバーに限定(15人)
- ② 市のルールを遵守 ③基本ルールを守る等を確認し実施している。④作業のみに限定(今年度の予定)

田植え 6月12日(土)、稲刈り 10月17日(日) 予定 ↓ (これまでの収穫実績)

	2017	2018	2019	2020	2021
会員数	16人	19	22	募集中	募集中止
耕作面積	94㎡	94	269	269	94
玄米	39kg	36	116	96	
精米	33kg	28	89	82	

友よ のぼりくる 朝日の中で

友よ 喜びを 分ちあおう

夜明けは近い 夜明けは近い

友よ この闇の向こうには

友よ 輝くあしたがある

(岡林信康 ”友よ” から抜粋)・・沼尻 哲

“ふっさ環境フェスティバル”への参画について

明治大学校友会福生地域支部

最近しばしば50年、100年に一度と表現される海水温の上昇に起因する“台風の大規模化”が伺えます。我々の多摩地区でも記憶に新しい2019年の台風19号において、日野橋の陥没、福生市田園地区では多摩川土手上面まであと1.5m位まで濁流が迫り、地区住民全戸の避難指示も出されました。

『E C O検定公式テキスト』では、地球の歴史の65万年前から約250年前の産業革命まで、温室効果ガスとされるCO2濃度は180~300ppmの範囲内に収まっており、その後、直近2014年には400ppm超となったことが記されています。(JAXA CO2濃度観測衛星“いぶき”による。)65万年という期間を1年の短縮時計で表現すると、産業革命の250年前は大晦日の20時40分、その3時間20分後が現時点となり、急激に大気中のCO2バランスが短期間に増加していることが解ります。

これらの環境問題は、SDGs(持続可能な開発計画)と結び付けよく議論されています。私たちがグローバルな視点で地球を見つめ、子孫へ持続可能な社会を繋げていかなければなりません。私たちの行動は、「出来る

ことから」、「身近なことから」始めることだとよく言われます。

そこで、明治大学校友会福生地域支部もまず身近な原点に立ち、多摩の持続可能な産業・森・水の保全というテーマを掲げ、今回2021年度の事業計画として“ふっさ環境フェスティバル”へ参画することとしました。

ここでは、関連のYouTubeチャンネル(チャンネル登録してお楽しみください。)で「明治大学校友会福生地域支部3分間動画」ならびに「明治大学落語研究会現役大学生2名による“環境”をキーワードとした落語の動画」が配信される予定です。

明治大学校友会東京都多摩支部傘下の地域支部の皆さんも、より一層環境に関心をお持ちいただける機会として是非ご視聴ください。

(以下QRコードならびにURL参照)(略)

問い合わせ先：砥(と)綿(わた)監査委員

(TEL:090-3570-8120

Email:j.towata.1955.hi@gmail.com)

2021年5月吉日

明治大学校友会福生地域支部

支部長 山田 健一

“ふっさ環境フェスティバル”(2021年6月1日~30日開催)に 明治大学校友会福生地域支部が出展(動画及びパネル展示)します。

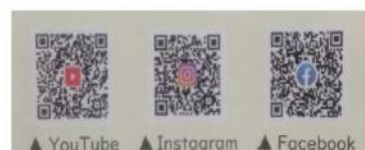
また、三宅裕司、立川志の輔、渡辺正行(コント赤信号)らを輩出した
明治大学落語研究会 現役大学生2名もYOUTUBEで参加します!

是非ご視聴ください!



3年 紫紺亭 六輔(しこんてい いろくすけ) 2年 和泉家 青機関車(いずみや とーます)

「ふっさ環境フェスティバル」に関しては、以下QRコード(広報ふっさ2021年5月15日号掲載)またはURLでご覧いただけます。
なお、YouTubeではチャンネル登録してお楽しみください。



<https://youtube.com/channel/UC1U1QwpJ0Vasi00hXi9d7dw>
<https://m.facebook.com/mrkanfes-101057812121769>
<https://www.instagram.com/mr.kanfes/>

八幡山グラウンド整備 校旗を応援団へ ラグビー場（11年ぶり）/アメフト場（15年ぶり）の芝を全面リニューアル



主将 飯沼 蓮（経営学部4年）
（体育会ラグビー部）

新たなグラウンドとなり、芝の深さやクッション性などその質の良さを実感しています。選手の皆もより一層モチベーション高く練習に臨んでいます。素晴らしい環境でラグビーができることに感謝し、目標である大学選手権優勝を成し遂げることで恩返ししたいと思います。

主将 村田 幹太（経営学部4年）
（体育会アメリカンフットボール部）

明治大学広報

このたび、人工芝を張り替えていただきありがとうございます。多くの人に支えられて活動ができている事を噛み締め、日々の練習に励みます。そして、日本一という結果を出して、応援してくださる方々に恩返しします。



新年度を前に、明治大学校旗を大学から応援団に貸し出す「校旗返還式・貸与式」が3月25日、駿河台キャンパス・岸本辰雄ホールで執り行われた。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止となり、2年ぶりの挙行となった。

冒頭あいさつに立った西山春文副学長（スポーツ振興担当、商学部教授）は、「コロナ禍での活動となるが、許された条件の中で工夫し合い、校旗の重みを感じながら、大学を元気づける活動を続けていただきたい」と激励し、返還された校旗を貸与した。

校旗を受け取った2021年度新団長の松下大輝さん（理工学部4年）は、「この式典は校旗の大切さを後輩に伝えるために重要な式典」とした上で、「伝統を受け継ぎながらも、これまでと違ったフレッシュな団を目指したい」と決意を述べた。

編集後書

第18回実行委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。先行きの見えない困難な局面の中、ここまでシナリオを仕上げた皆様に敬意を表します。

総会は来年度に再度、持ち越しとなりましたがこんな時こそ、各地域のそして多摩支部の“絆”を深める知恵を出し合いましょう。福生地域支部の「環境フェスティバル」への参画、素晴らしいことではないでしょうか。

メールでもホームページでも大いに活用し、場合によっては少人数グループでも活動を続けてまいりましょう。

多摩支部広報委員会

（本誌の記事は寄稿や明治大学広報、大学HP等を活用 関係者の皆様に感謝申し上げます。）